

平成 19 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 中原 洪二郎

最終学歴	東北大学大学院文学研究科社会学専攻行動科学専攻分野博士課程前期二年の課程
取得学位	修士(文学)
所属学会	アメリカ社会学会、日本社会心理学会、数理社会学会、東北社会学会、シミュレーション&ゲーミング学会
現在の専門分野	計量社会学、社会心理学、社会意識論
研究課題	民族集団間の社会的関係に関する研究、地域ブランド手法による地域活性化の研究
<p>【研究上の特記事項】</p> <p>(1)科学研究費補助金基盤研究(A)(一般)「地域ブランドの手法による地域社会の活性化」分担研究者(平成18年度?平成20年度)に基づく大分県・奈良県の地域ブランド戦略関連の調査研究を実施した。</p>	
<p>【教育上の特記事項】</p> <p>(1)地域連携教育研究センター事業として「学生を中心とした奈良大学と近隣地域の交流と連携に関する事業」「奈良大学との連携協定に基づく斑鳩町との連携事業」を実施した。(2)野迫川村役場への学生インターンシップを企画・実施した。</p>	
<p>【社会的活動】</p> <p>(1)斑鳩町都市計画審議会委員 (2)関西文化学術研究都市推進機構「科学のまちの子どもたちプロジェクト」委員</p>	
<p>【学内活動】(学内職歴を含む)</p> <p>入学試験委員会委員・学内進学協議会委員・個人情報保護管理委員会委員・ホームページ委員会委員・情報処理センター運営委員会委員・ネットワーク委員会委員・FD委員会委員・ISCPR委員・地域連携教育研究センター運営委員会委員・社会学部実習室管理委員会委員・GIS関連GP準備委員会委員など</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
地域経営技法としての地域ブランド戦略と大学・地域連携の可能性～奈良大学の試みと自治体調査の分析～	共著	2008年3月	奈良大学総合研究所所報16	中原洪二郎・秋山秀一。近年、大学と地域の連携が広く求められているが、その実態は大学という組織による連携ではなく、教員個人の活動の集積となっているため、特定の教員に過大な負担を強いるなどの状況になっている。大学と地域の組織的な連携が重要であり、その方略として地域ブランド戦略を活かすことが出来る。奈良県内の自治体で地域連携を担当する部局の職員が、大学と地域の連携及び地域ブランド戦略についてどのような問題意識を持っているのかを調査・分析した結果、大学からの情報発信のあり方や、自治体の組織が抱える問題が明らかになった。pp.15-27
(学会発表)				
民族文化的アイデンティティと他民族への寛容度に関する研究	単独	2007年9月	第48回日本社会心理学会大会(東京)	民族文化的アイデンティティの強化によって他民族への寛容度が上がるのか、下がるのかについては諸説あるが、「アイデンティティ」を意識と行動に分離することによって、強化が寛容度の上昇につながることを明らかにした。
(その他)				
大分県における地域ブランド研究の展開	単著	2008年3月	平成18～20年度 科学研究費補助金 基盤研究(A) 地域ブランドの手法による地域社会の活性化 中間報告書	村山研一 編。大分県商工労働部を中心に毎年策定している「おおいた産業活力総合戦略」の評価・分析と、それに基づく大分県内の事例についてその紹介と、中間報告的な分析を行った。 pp.67-76